

ジャーナリスト

日本ジャーナリスト会議 (JCJ) <https://jcj.gr.jp>
〒101-0061 千代田区神田三崎町3-10-15 富士ビル501号
電話 03-6272-9781 FAX 03-6272-9782
メール office@jcj.gr.jp ブログ <http://jcj-daily.seesaa.net/>
年間購読料4,000円(送料込み) 振替・00190-2-76501



THE JOURNALIST

2023.11.25

窮状支える市民ボランティア ウクライナ最前線を行く

ジャーナリスト

高世 仁さん

レポート



高世 仁さん

先月、ロシア軍と対峙するウクライナの東部戦線と南部戦線をまわり、戦闘状況と住民の暮らしを取材してきた。

膠着する戦線

6月にウクライナが反転攻勢をはじめた4カ月、塹壕戦となって戦線は膠着し、東部戦線ではロシア側の圧力が強まっていた。ウクライナ兵の士気は高く、物量に勝るロシア軍の攻撃をくい止めることに自信を見せていたが、兵器・弾薬の不足を訴える声を聞いた。欧米から戦車300両以上が供与されたといっても、前線は1000キロにも及び、戦況を一新させるわけではない。私たち



トーチカのように壕に入れてカモフラージュを施した122ミリ自走榴弾砲。使い込まれた砲身は熱で経年変色し燥(すす)がたまっていた



地下壕は砲兵が寝泊まりする生活空間でもある。122ミリ砲部隊の分隊長にインタビューする同行したジャーナリスト遠藤正雄さん(左)



ドローンからの映像をモニターで解析し旅団司令部に送る。右はスターリンクの白いモデム。この軍用車は民間からの寄付だという



が取材したロケット・砲兵部隊では、制空権がいまだロシア側にあるなか、地下壕に潜みながら、見るからに使い込まれたソ連時代の火砲を主力兵器として戦っている。分隊を率いる歴戦の

偵察用ドローンをカタパルトで発射する。国産で価格は5万5千ドル(約825万円)だという

ドローンが威力

軍曹は「もっと現代的な火砲と十分な弾薬、航空戦力があつたら」と歯がゆそうにつぶやく。

そんなウクライナ軍が重視するのはドローンだ。緒戦で首都近郊まで攻め込まれたウクライナが、ロシアの機動部隊を

ガザ攻撃の即時停止を

10月7日、パレスチナ自治区ガザ地区を実効支配するイスラム組織ハマスが強大な防護壁を築くイスラエルを急襲して始まったパレスチナの戦乱

戦闘開始から約1カ月の11月11日時点で、死者は1万1千人を超えるがその大半は市民で戦闘員ではない。それは死者の4割を占める約4500人の子供だという事実が物語っている。国連の子供と武力紛争に関する年次報告では、世界の軍事紛争で犠牲となった子供は2019年

が4019人、20年が2674人、21年が2515人、22年は2985人だ。ガザの子供の死者数はすでに、世界の各年の死者数を上回っている。ガザのライフラインは「ハマスを掃討」するための激しい空爆で破壊され、被害は病院や難民キャンプ、国連が運営する学校にも及んでいる。

封鎖の影響も深刻で、水や食料、医薬品などの供給が立たれ病院も機能不全に陥っている。イスラエルは、ハマスが病院を拠点にしている、市民を「人間の盾」にしていないと主張するが、その行いは国際人道法に違反するのではないかと国連のグテーレス事務総

長も8日、被害の深刻さに強い懸念を表明した。こうした事態に鑑み、JCJも15日、イスラエルによるパレスチナ自治区ガザ地区への無差別で非人道的な攻撃に強く抗議し、攻撃の即時停止・終結を求める声明を出した。全文をホームページでご覧いただけます。編集部

月、ウクライナのフェド

のシリコンバレー」と呼ばれるIT産業がさかんな国で、IT人材も多い。侵攻当初はトルコ製の外国製ドローンの輸入に頼っていたが、急速に国内生産を進めており、前線にも優秀な国産品が出回ってきている。ドローンに大きな期待をかけるのはロシアも同じで、ミサイルより圧倒的に安価な「コスバ兵器」として大量のドローンを投入している。最近ではミサイルに替わり、イラン製自爆ドローンを使った首都キーウをぶくむ都市部やインフラへの攻撃が増え、ウクライナ側に大きな被害が出ている。両国は技術開発にしのぎを削っており、先

2面に続く

中東問題理解のための年表

◇シオニズムの誕生◇

■1897年／第一回シオニスト会議（ユダヤ人の中シオニズム運動が起こる）

◇イギリスの「三枚舌外交」◇

■1914年／第一次世界大戦を機にイギリスはオスマン帝国（アラブ地域を支配）切り崩しを狙い暗躍を始めた■1915年／フセイン・マクマホン協定（アラブ人に「オスマン帝国と戦えば独立国家を作る」）■1916年／サイクス・ピコ協定（英仏で中東を分割支配する密約）■1917年／バルフォア宣言（ユダヤ人国家の建設を支持）

◇ナチス台頭とホロコースト◇

■1933年／ナチスが政権につく■1939年／第二次世界大戦始まる（ナチスによるホロコースト＝ユダヤ人の迫害と600万人虐殺）

◇イスラエル建国と中東戦争◇

■1947年／国連総会でパレスチナ分割決議採択（パレスチナをユダヤ人とアラブ人の2国に分け、エルサレムを国際管理下に）■1948年／イスラエル建国（アラブ世界は反発。建国翌日にイスラエルに攻め込み第一次中東戦争が勃発。イスラエルは土地を死守。■1967年／第3次中東戦争（イスラエルは戦争前の休戦ラインを越え、国際法上認められていないところまで占領。「パレスチナ」を統治下に。さらに国際法違反の占領地の入植活動を加速、被害者から加害者に変身。アラブ、パレスチナ住民の「インティファダ（抵抗運動）」が広がり、イスラエルに対する武装闘争が起きた）

◇和平と破綻、現在に至る衝突へ◇

■1993年／オスロ合意（パレスチナ暫定自治合意）アメリカとノルウェーが仲介、パレスチナに暫定自治を認め、イスラエルはヨルダン川西岸とガザ地区から段階的に軍を撤退させる。和平交渉の期限は2000年とされた）■2000年／和平崩壊（9月、エルサレムを訪れたイスラエルの右派政治家がイスラムの聖地「岩のドーム」に足を踏み入れたことで、イスラム教徒とイスラエル警察が衝突。死傷者が出て衝突は各地に。右派が台頭のイスラエルはヨルダン川西岸には高さ8m全長700km以上の分離壁を築きパレスチナ人を排除、対立は更に激化し問題解決は一層、困難に）

か。彼らの答えは、年金暮らしで避難してもお金が続かない、住み慣れた家を離れたくないなど。こうした前線近くに取

残された住民をマックスは週2回のペースで支援する。行政の手が届きにくい前線の村では、市民ボランティアに暮らした

多くを頼っていた。巡回中の兵士に前線までの距離を聞く。「敵の部隊まで3500mだ。えっ、たった3・5km！？」先の122ミリ榴弾砲が狙っていたのが5分先のロシア軍陣地で、ドローン部隊を取材したのが前線まで約10kmの地点だったから、この距離の短さに衝撃を受けた。マックスは当然、何度も危ない目にあってきたが、この活動をやる気はないという。「だって、ここは僕の国です。僕の家族や同胞、この国の子孫のために、自由を失うわけ

にはいきません」と淡淡と云う。民衆の強い意思 マックスは兵士への支援にも力を入れている。彼の事務所には、冬を迎える兵士への靴下や使い捨てカイロ、止血帯、医薬品などがところ狭しと置かれていた。戦闘の合間に食べるスナックは、ドローンで運んで塹壕に投下するという。なぜ民間のボランティアが、そこまでして軍隊を支援しなければならぬのか。マックスの答えは一言「汚職です」だった。「モノが途中で消えて前線まで届かないのです」ウクライナは汚職の蔓延で知られ、ゼレンスキー大統領も汚職撲滅を公約に当選したが、大きな改善が見られないという。マックスたちボランティアは、政府を当てにせずに、自分たちの力



前線まで3.5km 食料配る20歳

▲マックスのTikTokより。組織に属さない彼は、自分の支援活動をTikTokにアップするなどSNSを活用して国内外から寄付を募っている ▲食料品を配るマックス(中央)。村に残るのは多くが高齢者。マックスが荷物を運ぶバンは支援者から寄付した



「ひつりNGO」 私たちはマックスという20歳の若者と知り合った。大学でITを学んでいたが、ロシアの侵攻直後に休学し、個人でボランティア活動を始めたという。いわば「ひとり

NGO」。この日は、南部ザポリージャ州の前線近くの村で食料品を配った。道路脇には地雷原を示すドクロマークの看板が見え、砲撃の音がひっきりなしに響く。マックスが車を停める音を聞いて村人が集まってきた。多くが高齢者だ。危険な所になぜ残っているの

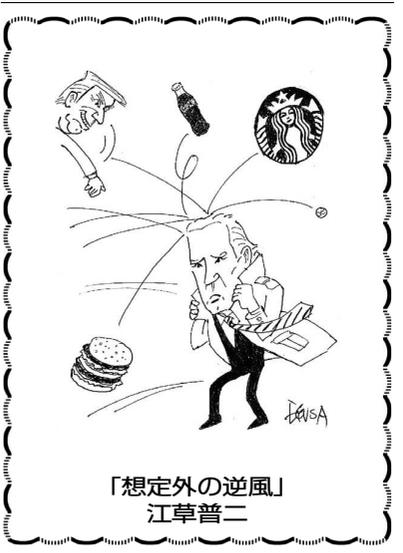
か。彼らの答えは、年金暮らしで避難してもお金が続かない、住み慣れた家を離れたくないなど。こうした前線近くに取残された住民をマックスは週2回のペースで支援する。行政の手が届きにくい前線の村では、市民ボランティアに暮らした

多くを頼っていた。巡回中の兵士に前線までの距離を聞く。「敵の部隊まで3500mだ。えっ、たった3・5km！？」先の122ミリ榴弾砲が狙っていたのが5分先のロシア軍陣地で、ドローン部隊を取材したのが前線まで約10kmの地点だったから、この距離の短さに衝撃を受けた。マックスは当然、何度も危ない目にあってきたが、この活動をやる気はないという。「だって、ここは僕の国です。僕の家族や同胞、この国の子孫のために、自由を失うわけ

コロナ日誌

—「新型コロナウイルス肺炎」と社会 (43) 2023/11/5現在

- 10月13日 8日まで1週間の全国の新型コロナウイルス平均患者数は、1医療機関あたり5.20人と1日までの週0.59倍となり、5週連続の減少となった。また患者数の減少は47都道府県と前の週より2県増となった／一方、都道府県別に多い順でみた1医療機関あたりの平均患者数は、北海道8.19人、沖縄県7.52人、石川県7.42人、愛知県7.11人など。もっとも少なかった秋田県は3.58人だった
- 20日 15日まで1週間の全国の新型コロナウイルス平均患者数は、1医療機関あたり3.76人と6週連続で減少、前の週0.72倍となった／患者数も1万8587人と、前の週から7043人減った／都道府県別に多い順でみた1医療機関あたりの平均患者数は、北海道6.61人、岐阜県6.13人、石川県5.58人、沖縄県5.54人など。もっとも少なかった東京都は2.23人だった。一方で、香川県は4.79人から4.85人へと前の週より増えた
- 27日 22日まで1週間の全国の新型コロナウイルス平均患者数は、1医療機関あたり3.25人と前の週0.86倍で、平均患者数は7週連続の減少となった／患者数も1万6075人と、前の週から2512人減った／都道府県別に多い順でみた1医療機関あたりの平均患者数は、北海道が6.79人と増え、長野県5.17人、福島県4.93人など7道県で前の週より増加。もっとも少なかった島根県は1.87人だった
- 11月6日 10月29日まで1週間の全国の新型コロナウイルス平均患者数は、1医療機関あたり2.86人と前の週0.88倍となり連続減少は8週間となった／患者数も1万4125人と、前の週から1950人減った／都道府県別に多い順でみた1医療機関あたりの平均患者数は北海道7.08人、長野県6.39人、山梨県4.56人、石川県4.38人と続き、北海道、長野以外の35都府県は前の週より減少した。2週続けて最も少なかった島根県は1.55人だった
- 10日 5日まで1週間の全国の新型コロナウイルス平均患者数は、1医療機関あたり2.44人と前の週0.85倍となり連続減少は9週間となった／患者数も1万2065人と、前の週から2060人減った／都道府県別に多い順でみた1医療機関あたりの平均患者数も北海道6.51人、長野県5.84人と42都道府県で前の週より減少した



視 角

ブホ不倫」の山田太郎文 問題が結局本人の資質。政治への「情熱」や「自覚」だ▼戦後の自民党政権下では、新しく当選した議員は、大抵1、2期目で、かつて「政務次官」と言われた「副大臣」や「大臣政務官」に任命され、政治家生活をスタートさせた。その分野に詳しい人もいたが、全く疎い人もいて「教育の場」が論じられ「身体検査」や、派閥と官邸の力関係などが論じられたが

ピンクスライムサイト増殖 批判的思考の充実急務

Dappi問題受け日本でも懸念

米国内報道機関を装って党派色の強いニュースを配信するサイトが増えている。こうしたメディアは、肉を化学処理して食べられるようにした加工肉「ピンクスライム」になぞらえて「ピンクスライム・ジャーナリズム」と呼ばれる。日本でもDappi問題を受け、ピンクスライムサイトの拡大が懸念されている。

ニュース砂漠

米国内報道機関を装って党派色の強いニュースを配信するサイトが増えている。こうしたメディアは、肉を化学処理して食べられるようにした加工肉「ピンクスライム」になぞらえて「ピンクスライム・ジャーナリズム」と呼ばれる。日本でもDappi問題を受け、ピンクスライムサイトの拡大が懸念されている。

ネット時代に

インターネットの世界では、人々の関心は経済的に大きな価値を持つ。これはアテンション・エコノミーと呼ばれ、コンテンツを供給する側には消費者の関心を引き付けるために、過激なタイトルの記事などを生産するインセンティブが生じている。

ネット時代に

インターネットの世界では、人々の関心は経済的に大きな価値を持つ。これはアテンション・エコノミーと呼ばれ、コンテンツを供給する側には消費者の関心を引き付けるために、過激なタイトルの記事などを生産するインセンティブが生じている。

JCJ代表委員 吉原 功



米政府、ガザ侵攻支持で信用失墜

パレスチナガザ地区を実効支配しているイスラエル組織ハマスがイスラエルに大規模攻撃を仕掛けた。イスラエル軍報道官が「米同時多発テロと真珠湾攻撃を合わせたような衝撃だ」と述べたという。悪の所業だ」とハマスは断罪し、プリンケン国防長官をイスラエルに送った。同国の「自衛権に対するアメリカの揺るぎない支持を明確に示す」という言葉通

市民を殺害したり、人質として連れ去ったりしたハマスの暴挙は、無論許されることではない。イスラエルの「戦争」は許せないとの声が大勢を占めつつあり、その批判はバイデン米政権にも向けられている。同大統領はネタニヤフ首相を訪ねて、その「勇気と決意」と勇敢さは驚くべきものでないか。

米欧中心にハマスの暴挙を非難してやまなかった国際世論はしかし、急速にイスラエル批判に転じている。子供だるまが病人だろうがハマスの抹殺のために殺害するとい

ウクライナに侵攻したロシアに対しては厳しく断罪し、パレスチナに侵攻しているイスラエルは支援するなど、米国の二重基準も問題になっている。

米国内でのイスラエル米政権批判は、政権否米国にとってもっと深刻だろう。イスラエル建国以来、米国内のユダヤ社会は米国内の重要な要素だが、1996年設立の「平和を求めるユダヤ人の声」という、米国内に70組織、会員約4万

国内的にも国際的にも米政府は信用を失い、国内の分裂は一層深刻になりつつある。このような国とピッチリと寄り添う日本の選択はそろそろ変えなくてはならない。

元朝日新聞論説委員でJCJ運営委員の隈元信一さん(70)が10月17日に亡くなった。69歳だった。放送分野の取材が長く、がん闘病中の20

22年に友人らの支援を受け「探訪 ローカル番組の作り手たち」を出版した。この約10年は青山学院大学で週一回、学生たちにジャーナリズムを教える、若い世代の育成に力を注いだ。

JCJが学生向けに開くジャーナリスト講座にもよく顔を出した。彼と知り合った他大学のある学生は朝日新聞に入社。15年に隈元さんが希望すると、雪かきの手伝いに出かけた。「面倒見がよくフランクに付き合ってくれた方だった。過去の新聞の戦争責任を自覚し、次の世代のためにいろいろやっていただと思う」と振り返る。

隈元信一さん死去

JCJ運営委員・元朝日論説委員



元朝日新聞論説委員でJCJ運営委員の隈元信一さん(70)が10月17日に亡くなった。69歳だった。放送分野の取材が長く、がん闘病中の20

22年に友人らの支援を受け「探訪 ローカル番組の作り手たち」を出版した。この約10年は青山学院大学で週一回、学生たちにジャーナリズムを教える、若い世代の育成に力を注いだ。

JCJが学生向けに開くジャーナリスト講座にもよく顔を出した。彼と知り合った他大学のある学生は朝日新聞に入社。15年に隈元さんが希望すると、雪かきの手伝いに出かけた。「面倒見がよくフランクに付き合

てくれた方だった。過去の新聞の戦争責任を自覚し、次の世代のためにいろいろやっていただと思う」と振り返る。

隈元さんが運営委員になったのは21年春。「最後までジャーナリストとして生きる」という言葉が忘れられない。須貝道雄



緊急デモに有志も参加。午後4時からは新宿駅東口公園での集会和「パレスチナに平和を」11・19緊急新宿デモ」に参加し、若者も多く「フリー、フリー、ガザ」、「シェイムオン、イスラエル」などに加え、街には「フリーフリー、パレスチナ」など、様々な国の言葉でコールが響いた。参加者は1500人と報道された。保坂義久

「パレスチナに平和を」

緊急デモに有志も参加

11月19日、JCJ会員有志はJCJの旗を掲げて二つの行動に連続参加した。一つは総がかり行動実行委員会が2015年9月19日の安保関連法案強行成立を契機に毎月開いている19日行動。パレスチナに平和をー軍拡増税反対ー辺野古新基地建設反対ー改憲発議反対ーを

メディア読解

だど指摘している。メディアリテラシーで大切なことは、事実発信者の視点で取捨選択、再構成されていることを認識することだ。それを意識できるようにするのがクリティカルシンキングだ

クリティカルシンキングは、物事を批判的に捉え、判断する思考法であり、エイクニュースが生まれやすい状況にある。一方、情報を受け取る側も問題を抱えている。アルゴリズムで自分の見たい情報ばかりが表示されるフィルターバブルに、SNSで似た考えの人をフォローした結果、同じ意見ばかりを目にするエコチェンバーが組み合わさることで、情報を冷静に吟味することが難しくなっている。これに事実を見る目を歪める認知バイアスが追い打ちをかけている。

こうした時代にわれわれはどう対応すればいいのか。鍵を握るのがクリティカルシンキングだ。ティカルシンキングだ。周回遅れ日本

クリティカルシンキングは、物事を批判的に捉え、判断する思考法であり、エイクニュースが生まれやすい状況にある。一方、情報を受け取る側も問題を抱えている。アルゴリズムで自分の見たい情報ばかりが表示されるフィルターバブルに、SNSで似た考えの人をフォローした結果、同じ意見ばかりを目にするエコチェンバーが組み合わさることで、情報を冷静に吟味することが難しくなっている。これに事実を見る目を歪める認知バイアスが追い打ちをかけている。

こうした時代にわれわれはどう対応すればいいのか。鍵を握るのがクリティカルシンキングだ。ティカルシンキングだ。周回遅れ日本

常勤フリー200人に 労基法を適用

東映アニメ労組 河内元委員長が語る

デスクがあり、週に何回か出向き、その日に数時間仕事をやる。契約期間については定めがないなどさまざま。スキルが高いと、高報酬を得られる。一方で労働基準法が適用される正社員と違い、労災保険や雇用保険に入らず、有給休暇もほとんどなく、会社都合でクビを切られる可能性があるなどデメリットもある。河内氏は「白蛇」「鉄腕アトム」「狼少年ケン」などヒットアニメを次々に生んだ東映アニメーションの労組の歴史を振り返った。前身の東映動画が設立されたのは1956年。低賃金ゆえに社員が59年に労組を結成したが、会社につぶされ61年に再結成する。会社は69年から27年間社員の採用を見送った。テレビの普及により映画産業の斜陽化が進んで、コスト削減を強いられた親会社・東映グループ会社を縮小したからだ。この間、主に常駐フリーが人手不足を補った。

50年超す闘争の末 社員労組との合併も力に

社員労組との合併も力に

常勤型で働くフリーランスが急増している。人手不足を補うため会社が積極的に活用している。この常勤フリーは、人材会社などから派遣されたあるいは個人で業務委託契約を結んだ会社に自分のデスクがあり、週に何回か出向き、その日に数時間仕事をやる。契約期間については定めがないなどさまざま。スキルが高いと、高報酬を得られる。一方で労働基準法が適用される正社員と違い、労災保険や雇用保険に入らず、有給休暇もほとんどなく、会社都合でクビを切られる可能性があるなどデメリットもある。東映動画が設立されたのは1956年。低賃金ゆえに社員が59年に労組を結成したが、会社につぶされ61年に再結成する。会社は69年から27年間社員の採用を見送った。テレビの普及により映画産業の斜陽化が進んで、コスト削減を強いられた親会社・東映グループ会社を縮小したからだ。この間、主に常駐フリーが人手不足を補った。

フリーを「労基法上の労働者」として認めさせた要因は何だったのか。河内氏はこう語った。「社員による待遇底上げの闘いが支えになった。その年に要求が通らなくても、無駄にならず次につながる、外堀を埋めた河内氏は「スタートは1本いくらかの契約でしただけ。数年後に(数本の)月決め報酬契約になった。本数で計算できない事務職は、日給月給。みんな健康保険、年金などの福利厚生はなかった」という。

フリーを「労基法上の労働者」として認めさせた要因は何だったのか。河内氏はこう語った。「社員による待遇底上げの闘いが支えになった。その年に要求が通らなくても、無駄にならず次につながる、外堀を埋めた河内氏は「スタートは1本いくらかの契約でしただけ。数年後に(数本の)月決め報酬契約になった。本数で計算できない事務職は、日給月給。みんな健康保険、年金などの福利厚生はなかった」という。

残業、大半が無報酬 常勤フリーの働き方

出版ネットがアンケート調査

出版ネットが出版労連の協力を得て昨年12月から今年2月まで実施した第2回目(1回目は昨年3月から5月)の常勤フリーアンケート調査報告書は、回答者42人とやや少ないものの実態が垣間見える。出版ネットが定めた出版社・Web関連業界で働く常駐フリーは以下の3点すべてに当てはまる人のことをいう。

- ①指定された場所で仕事
- ②1社について週20時間以上または月80時間以上就業
- ③1カ月以上の業務継続が見込まれる。

主な質問項目と回答は以下の通り。

- 「仕事」校正・校閲が25人と最も多く、その次が編集・編集補助。営業にも3人いた。
- 就業場所は誰から指示されているのか。「契約先(出版社、プロダクションなど)」が34人と最も多い。「派遣、出向先からの会社から」を合計すると38人となる。
- 就業時間は誰から指示されているのか。「契約先」が9人が12人とトップ。
- 報酬はどこから。「出版社から直接」が26人と最も多く、プロダクションの13人がその次。
- 契約期間。「1年」が25人と6割近く占め、「期間の定めがない」も12人いた。
- 報酬形態。「月額固定給・年俸」が20人と50%近かった。報酬が定まっていると「定額動かせ放題」が大きな問題として残る。
- 就業場所は誰から指示されているのか。「契約先(出版社、プロダクションなど)」が34人と最も多い。「派遣、出向先からの会社から」を合計すると38人となる。
- 「自分の判断で決められない」「この仕事をするのには指示されるが、その進め方などは自分で決められる」「最初に指示された仕事のやり方を教えてもらい、あとは自分の判断で進めている」の合計は20人と半数に近い。現実には「業務遂行上の指示(指揮命令)」を受けているわけで、「労働者」とみなされる。
- 「自分の判断で決められない」「この仕事をするのには指示されるが、その進め方などは自分で決められる」「最初に指示された仕事のやり方を教えてもらい、あとは自分の判断で進めている」の合計は20人と半数に近い。現実には「業務遂行上の指示(指揮命令)」を受けているわけで、「労働者」とみなされる。



東京練馬区大泉の東映アニメーションミュージアム(HPPから)

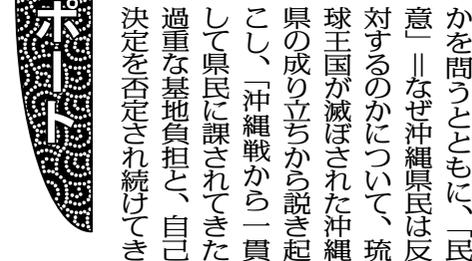
朝ドラモデル会社 NHK朝ドラ「なつぞら」(19年4月から9月に放送)主演の広瀬すずがアニメーターを目指す。会社のモデル、東映アニメーションの間、主に常駐フリーが人手不足を補った。



いよいよだ！「悪魔の刃」との対決

10月30日、国が提起した辺野古代執行訴訟の第1回口頭弁論が福岡高裁那覇支部で行われ、国の要請通り即日結審したが、判決期日は「追って指定する」とした。これは異例のことだ。

今回の代執行訴訟では「公益」とは何かが鋭く問われた。知事の承認は普天間基地の危険性除



性除去や安全保障のため「辺野古が唯一」なのかを問うとともに、「民意」なぜ沖繩県民は反対するのかについて、琉球王国が滅ぼされた沖繩県の成り立ちから説き起し、「沖繩戦から一貫して県民に課されてきた過重な基地負担と、自己決定を否定され続けている」という知事の願いを「私」が県民の矢面に立つ。どんな矢が飛んで来ようとも受け止めて立つ」と力強く語り、県が求めている「対話による解決」について、「政府とも誰とでも、豊かな未来のために対話する」と述べた。

国が振りかざす代執行という「悪魔の刃」(オーイ沖繩会議・稲嶺進共同代表)との対決がいよいよ始まる。 浦島悦子

奪われた権利 取りもどそう



公開を前に日本記者クラブで会見する青木理さん(右)と監督の山崎裕侍さん

映画「ヤジと民主主義」

僕たちの権利が失われつつあるのを地方で暮らしていると感じる。安心な暮らし、交通手段、美しい自然、働く場所、地域社会の絆。深刻なのは失っているのが自分たち

つづく過剰警備 無関心か危機感をもつか

の権利だと気が付かない人が少なくないことだ。映画「ヤジと民主主義 劇場版」は、奪われた権利を取り戻そうと闘う人たちの物語である。19年7月、札幌で参議院選挙の応援演説をして

院選挙の応援演説をしていた安倍首相(当時)にヤジを飛ばした男女が警察に強制的に排除された。政権批判を封じ、表現の自由を奪ったとして



00分間 にまとめ た。内容に 一番厚み を持たせたのは、

市民らが抗議し、排除された男女2人が北海道警察を所管する北海道道庁手に裁判に訴えた。20年4月に放送したドキュメンタリー番組は第63回JCJ賞を受賞した。

当事者たちの「排除前」と「排除後」の物語だ。とりわけ当時大学生だった桃井希生さんは小さい頃から吃音に悩み、一時は生きる意味さえ失っていた。

10月に行われた参院徳島・高知の補欠選挙では、応援演説する岸田首相に聴衆の男性が「増税メガネ」とヤジを飛ばし、警察官が過剰警備をした。これを問題視するメディアはほとんどない。

僕たちの権利は、懸命に握っていないと常に奪われかねない。そして今は自ら放り投げていくのではないかという危機感を覚える。その現状を見えなくさせているのは、人々の無関心だ。この映画についても「4年前の、終わったこと」と関心を寄せない人もいる(しかも観ないで)。違

る。沖繩戦の痕跡が両島にも色濃く残っており、歴史の反省の全くない暴挙であること、南西諸島を始めとする日本の軍事大国化は米国の世界戦略に深く関係していることなどです。

翻ってみると、西武池袋本店で労働組合がストをしたとき、インターネット上では「迷惑」という声が相次いだだけでなく、NHKもニュースで「客は置いてけぼり」と

いうインタビューを伝えた。今の日本ではストライキやデモも、ヤジを飛ばすことも「迷惑」だと攻撃される。

現在進行形の問題であり、僕やあなたに降りかかる問題なのだ。この映画が受け入れられるか否かは、この国の民主主義に危機感を持つか否かのリトマス試験紙だと感じている。

映画は12月9日からポレポレ東中野(東京)とシアターキノ(札幌)で同時公開。順次全国で上映予定

山崎裕侍(映画「ヤジと民主主義」劇場版監督)・HBC報道部デスク

大軍拡の宮古島・石垣島 最前線の取材報告

沖繩ジャンプナイト、HPにアップ

沖繩ジャンプナイト(OJN)は、日本ジャーナリスト会議(JCJ)のなかで、沖繩の状況にとりわけ強い関心を持つ会員のグループです。



日本国憲法公布が1946年11月3日。それから77年。国会前は憲法改正反対の声が響いた。国会正門前行動「アベ・スガ・キシダ政治を許さない」は200人が集まった。呼びかけ人の澤地久枝さんは「憲法9条をまもろう」のプラカードを掲げ、「どんどん戦争前夜の方向に向かう」「日本の政治はますます悪くなると思う。そうならないように頑張ってください」と訴えた。=3日、東京・国会正門まえで、酒井憲太郎撮影



支部 リポート

</

ラジオと戦争 放送人たちの「報国」

ラジオは戦争を煽ったのか、痛恨の史実を暴き出す

大森淳郎



放送を実現した。当時はまだ裁量が残っていたのだ。その後、西本は放送に転じるが、教養・教育番組もすでに軍の宣伝の道具に変わりはてっていた。

著者は、テレビ界の良心として知られるドキュメンタリーの名手。E.T.V特集と『放送研究と調査』の論文をもとに14年かけて完成。今年の毎日出版文化賞に輝いた。

1941年の九龍半島への攻撃を伝える録音が見つかった。砲弾が空気を切り裂いて飛ぶ。炸裂する轟音の中を逃げ惑う人たちの悲鳴が聞こえる。

臨場感あふれる構成は戦争の悲惨を訴えるのではなく、中国民衆と対比し日本人の幸福を際立たせる創意工夫だった。

録で、女性是非戦を体験する存在で、世界平和のために果たす役割は大きいと語った。検閲担当者

電通に対する忖度を徹底も感じさせない記述に、爽快感さえ感じた。

書評

本・BOOK・ほん

(価格は税別です)

林 博史

朝鮮戦争無差別爆撃の出撃基地日本

在日米軍基地の役割とは ガザに重なる暗黒の史実



スラエル側の狂気ともいえる報復で、ガザは今や地獄。イスラエルは救急車や病院や学校までも標的に爆撃。救急車は戦闘員を運び、病院や学校の地下にはハマスの基地があるから爆撃は当然とイスラエルはうそをつく。

2020東京五輪汚職事件をスクープした読売新聞社会部による取材記録。汚職事件の発端から容疑者逮捕、さらに談合事件に至る取材に奮闘した記者たちの動きを追体験できる良書である。

五輪汚職 記者たちが迫った祭典の闇

読売新聞社会部取材班

事件全貌を俯瞰できる 電通の強欲、忖度なしで活写



改めて強く感じたのは、東京五輪とはまさに「電通の、電通による、電通のための大会」であったことだ。汚職事件の中心人物として電通専務だった高橋治之氏の名が再三登場し、談合事件の記述でもまた、電通の名前が繰り返して登場する。

統一教会問題を所管する盛山文科相は、「遅くとも1980年頃から被害があった」と述べた。だが単行本『原理運動の研究』（晩聲社）が出版されたのは77年である。

原理運動の研究

茶本繁正

統一教会の闇を暴く 先駆的名著が復刊！



そのため「親立かせの学業放棄と家出」が続出し、67年には「原理運動対策全国父母の会」が結成されていた。当時すでにソウルでの合同結婚式も行われていた。

今すぐ知りたい日本の電力

明日はこっちだ

いとうせいこう編著

電気代高騰と再エネの窮地 この危機を好機に変えるための一冊

とわたりやすく構造の変化を示したいからであった。ところが昨年末の岸田内閣の大方針転換、原発政策回帰以来、にわか再生エネは旗色が悪くなったかに見える。そうした状況に深刻な危機感を抱いたからだという。

インタビューでは電力高騰の理由を元東京電力社員にからくりを聴く。一方で、蓄電池を活用したオフグリッドの自由さ、太陽光発電と農業のソーラーシェアリングの未来などを当事者に話してもらっている。



本書は1950〜53年に戦われた朝鮮戦争における日本の米軍基地の役割を克明に検証した本だ。これを読みながら、私はしきりに「ガザ」での戦争を想起している。ハマスの奇襲に対するイ

軍が家を焼くのか、民衆には理解できない」という証言や「共産軍が撤退した後は家や学校がそのまま残っているが、国連軍ははるかに破壊力の武器でかつての都市をただ黒焦げの焼け跡にし

た。軍の方針を後押しする。これがニュースの編集方針だった。

1941年の九龍半島への攻撃を伝える録音が見つかった。砲弾が空気を切り裂いて飛ぶ。炸裂する轟音の中を逃げ惑う人たちの悲鳴が聞こえる。

改めて強く感じたのは、東京五輪とはまさに「電通の、電通による、電通のための大会」であったことだ。汚職事件の中心人物として電通専務だった高橋治之氏の名が再三登場し、談合事件の記述でもまた、電通の名前が繰り返して登場する。

統一教会問題を所管する盛山文科相は、「遅くとも1980年頃から被害があった」と述べた。だが単行本『原理運動の研究』（晩聲社）が出版されたのは77年である。

そのため「親立かせの学業放棄と家出」が続出し、67年には「原理運動対策全国父母の会」が結成されていた。当時すでにソウルでの合同結婚式も行われていた。

いとうせいこう氏といえは、作家であり、クリエイターであり、音楽シーンを席巻するラップのパイオニア。NHKの朝ドラに登場したりもする。そんなマルチな才能の持ち主が緊急出版したのが本書である。

テーマは「日本の電力」だ。原発に代わる再生可能エネルギーの専門家5人に自らインタビューして現状、未来への可能性などを聴いている。

映画の鏡

全ての候補者を平等に取材

「NO選挙・NO LIFE」

フリーランスライターの真骨頂



(C) ネットゲン

「テレビ、新聞では決まらずに候補者全員を取材してやる。選挙報道に人生をかけるのかを解き明かそうと密着取材している。」

「選挙ほど面白いものはない」と全候補者の取材に駆け回る岡山さん(50)の取材ぶりを追う、なぜ彼が寝る時間も削ってまで全真取材にこだわった選挙報道に人生をかけるのかを解き明かそうと密着取材している。

仕事(と言っても採算を度外視した取り組みなのだ)に、どんな意味があるのかを今こそ知ってほしい、前田亜記監督の9年12月の「JCIジャーナリスト」で、岡山さんに講師として話を聞いた。岡山さん(50)の取材ぶりを追う、なぜ彼が寝る時間も削ってまで全真取材にこだわった選挙報道に人生をかけるのかを解き明かそうと密着取材している。

「フリーランスライターは、政治や大きな団体が支援する有力候補以外にお願いし、泡沫候補で、この候補の政策・主張などはフリーランスのオモテとウラ——醍醐味と難しさ。」

「オモテとウラ——醍醐味と難しさ。」

新聞

性加害、沈黙の愚を繰り返すな

「オモテとウラ——醍醐味と難しさ。」

月間マスコミ批評

「オモテとウラ——醍醐味と難しさ。」

放送

ほとんど改善ない民放の女性比率

「オモテとウラ——醍醐味と難しさ。」



メデイア

気象台

「オモテとウラ——醍醐味と難しさ。」

「オモテとウラ——醍醐味と難しさ。」

「オモテとウラ——醍醐味と難しさ。」

ネット使い組織ぐるみの世論操作

Dappi裁判 一審で確定

杉尾秀哉議員寄稿



杉尾秀哉さん

匿名のツイッターアカウント「Dappi」の投稿で名誉を傷つけられたとして、小西洋之参議院議員と私が、東京都内のIT関連企業「ワンズクエスト」社の社長らに損害賠償を求めた裁判で、被告に賠償を命じた東京地裁の一審判決が先日、確定した。ネット上の誹謗中傷や名誉棄損事案が後を絶たない中で、ネットを使った組織ぐるみの世論操作と見られる実態の一端が、今回の裁判で明らかにされた意義は極めて大きい。その一方で、裁判では一貫して被告側が投稿者の開示を拒み続けたため、実際の投稿者や、投稿の背景と目的などは一切明らかにならなかった。また、メディア等で指摘されていた、被告会社と自民党との関係についても、判決では全く触れられなかった。その意味では、課題が多かった裁判と言わざるを得ない。



Dappi 公式 Twitter から

会社の業務と認定 自民党との関係には触れず



参院予算委で追及する杉尾議員

ここで簡単に裁判の経緯を振り返りたい。

Dappiは2019年6月開設。ネット番組や国会中継の動画を切り取り、野党や報道機関を批判する一方、与党議員の発言を評価する投稿を繰り返していた。フォロワー数は17万人にのぼり、自民党議員らがツイッター等で拡散していたことを考えると、影響はさらに大きい。

そのDappiが我々を

標的に問題の投稿をしたのは、20年10月のこと。全くの事実無根で、到底看過できる内容ではなく、党幹部の助言もあった。21年10月に、会社と小林社長らを相手取り訴訟を提起した。

そこからIPアドレス

裁判所命令も拒否 投稿情報ひた隠し

この裁判で小林社長は、投稿が従業員による私的なものと認め、当該従業員を減給処分した給与明細を提出する一方、「会社の業務とは無関係だ」と主張し、裁判所の命令に反して投稿者の開示を拒否し続けた。

そして迎えた本年10月16日。東京地裁は会社側

等から、投稿者は業務時間の大半を専ら記事の投稿に充てていたと認められる——などとして、問題の投稿は「小林社長の指示の下、従業員あるいは社長自身により、会社の業務として行われた」と明確に認定した。

ワンズ社と自民党

「調査不用」と首相

では、なぜ被告側は控訴しなかったのか？
そこで改めてクロースアップされるのが、ワンズクエスト社と自民党の関係である。

黒幕を隠すために 控訴せず幕引きか

10月31日の参院予算委では、システム収納センターの元代表取締役でもある岸田総理に、ワンズクエスト社とシステム収納センターとの取引内容や、金銭供与等の事実関係を調査する気がないか質問したが、岸田総理の答弁は以下のような素っ気ないものだった。

「報道を見る限り、判決では自民党とDappiとの関係については一切触れられていない。調査の必要があるとは考えていない。」

岸田総理の答弁は想定内の範囲内だったが、それでも疑惑は一切晴れない。

そもそも、被告側が控訴もせず敗訴判決を確定させたのは、賠償金を払ってでも裁判を早期に集

編集部MEMO
「Dappi」が拡散したデマ投稿は、森友公文書改ざん問題で近畿財務局職員赤木さんが、小西、杉尾両議員が1時間つるし上げた翌日に自殺との内容。実際には面談の事実すらなかった。



報道各社の11月世論調査で、内閣支持率が軒並み下落し20野台の横並びが相次いだ。朝日、毎日、読売の調査は2日間、3日間の実施期間の違いはあれ、ほぼ同時期に行われ、注目した朝日25野、毎日21野、読売24野という結果となった。

特に目をひいたのは読売調査の下げ幅だ。前回比10ポイントの下落は。朝日、毎日とも同4ポイントだったのに比べて際立った。

内閣支持率下落 信頼回復の鍵は

3紙の見出しも「最低25%」(朝日)、「最低21%」(毎日)、「急落24%」(読売)で、読売は「自民政権復帰後 最低」と別見出しを立てて報じたほか、翌21日朝刊社説でも「支持率急落 政権運営の手法を検証し直せ」と注文をつけた。

それによると「防衛力の強化や少子対策など岸田内閣が取り組んでいる課題は時宜にかなっている。一方で、政策決定の手法には疑問が残る」という。同紙は「調査結果は、減税が次期衆院選に向けて国民の歓心を買う狙いである、と世論に見透かされたことを示している」と指摘する一方、それは首相が「一部の側近議員の『思いつき』のような意見を重用しているように見える」と断じ、「長期政権を担った安倍内閣の場合、自民党支持層の内閣支持率は平均で9割あったが、今回の調査では53%にとどまった」とし、「LGBTへの理解増進法も十分な議論なしに成立させた」ことが「保守層の『岸田離れ』を招いたとされる」と、逃げをうちながら、党内調整を十分にするようにと求めている。つまり国民への責任でなく、党内への調整の目配りをと求めているわけだ。故安倍政権を恋うのは勝手だが、岸田政権の不人気はそのアベ政治の政策を実践しているからではないか？